

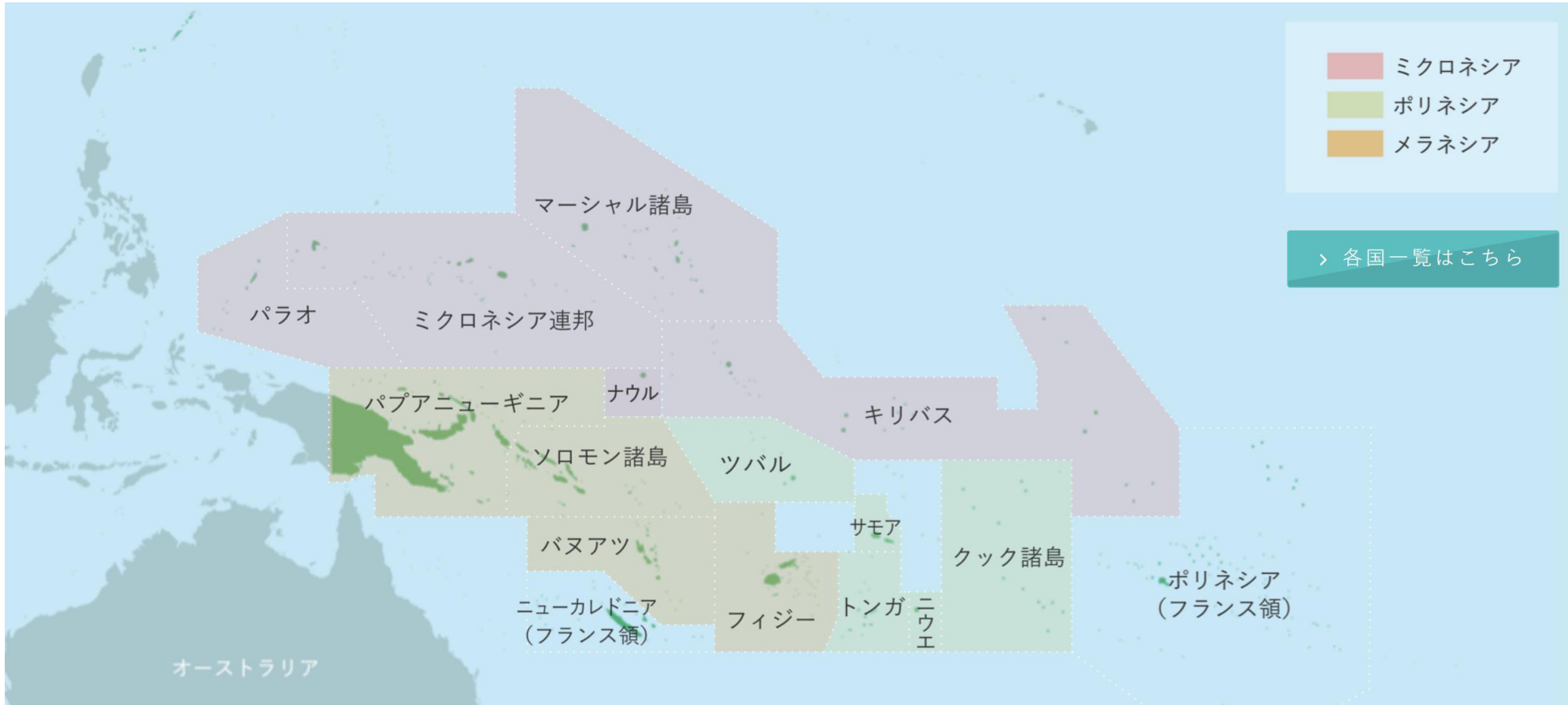
太平洋島嶼国経済復興支援事業 調査報告（貿易・投資）

2024年5月31日
株式会社クニエ



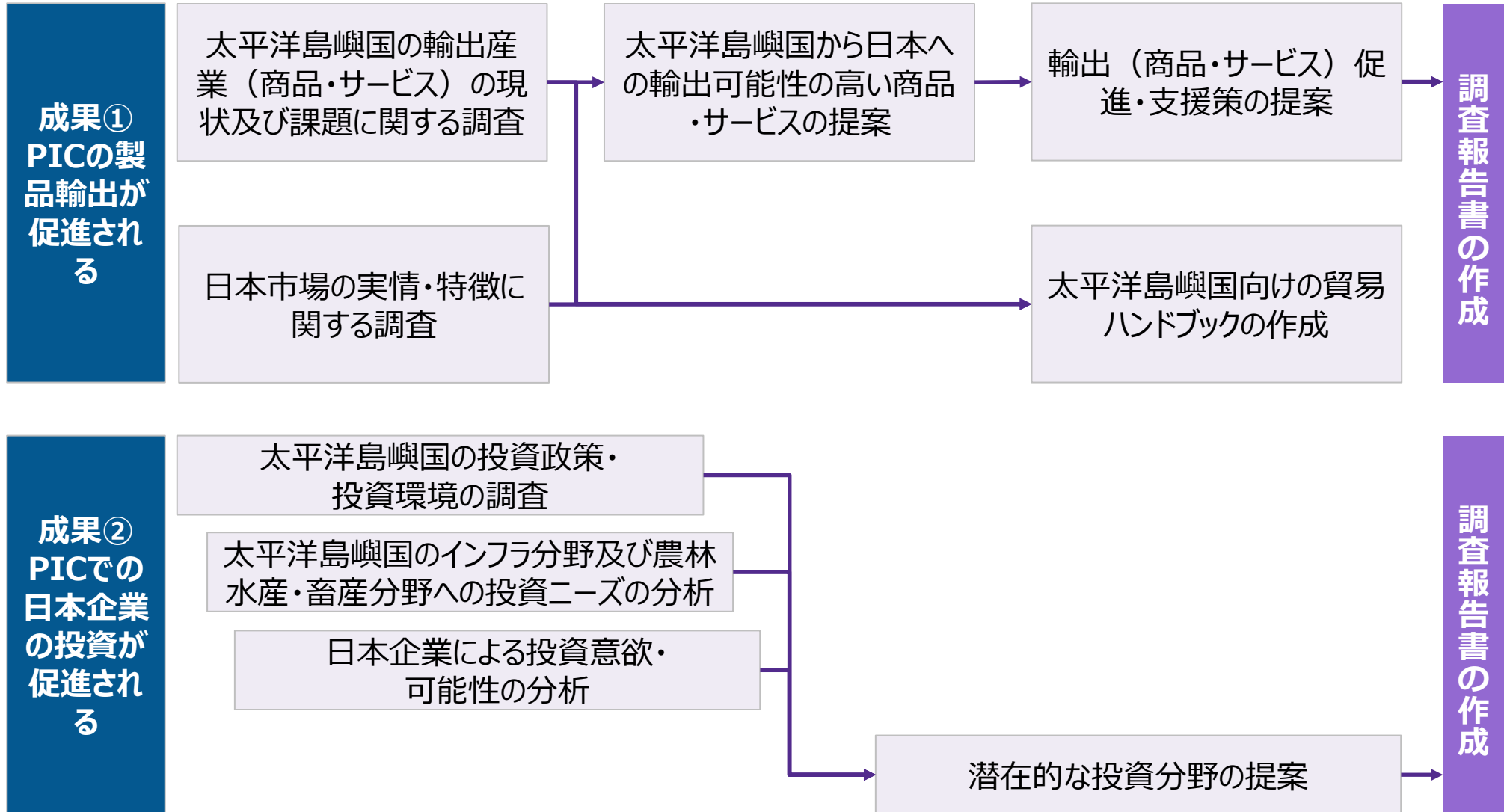
- (1) 調査概要
- (2) 調査報告 - 貿易
- (3) 調査報告 - 投資
- (4) お知らせ

(1) 調査概要



(出所) 国際機関 太平洋諸島センターウェブサイト

主な事業内容①



成果③ PIC企業 による日 本への輸 出及び日 本企業に よるPIC への投資 が増加す る

展示会

- 2023年9月出展：SCAJ World Specialty Coffee Conference and Exhibition 2023
- 2024年1月出展：国際化粧品展（東京）
- 2024年3月出展：FOODEX JAPAN 2024（国際食品・飲料展）

フォーラム/セミナー

- 2023年11月開催：ビジネスフォーラム（漁業分野）
- 2024年2月開催：パプアニューギニア経済ミッション～官民合同経済セミナー & ビジネスフォーラム～
- 本日開催：投資セミナー「島嶼国投資調査報告と事業展開事例」
- （予定）：投資セミナー（於：Suva）

成果④ プラット フォームの 構築

- 日本と太平洋島嶼国14カ国 + 2地域の企業を対象としたオンラインビジネスマッチングプラットフォームを構築中。詳細は後述。

(2) 調查報告 - 貿易

太平洋島嶼国の貿易データ（対全世界）



PNGを除く13カ国・2地域で貿易赤字構造となっている。

地域	国・地域	対象年	単位	輸出額	輸入額	貿易収支
Micronesia	FSM	2018	千米ドル	46,770	197,980	-151,210
	Kiribati	2021	千豪ドル	12,148	194,854	-182,706
	Marshall Islands	2021	千米ドル	62,682	135,264	-72,582
	Nauru	2021	百万豪ドル	6	85	-79
	Palau	2022	百万米ドル	8	208	-200
Melanesia	Fiji	2022	百万フィジードル	2,323	6,599	-4,276
	New Caledonia ¹	2021	百万パシフィック・フラン	178,603	280,759	-102,156
	PNG	2022	百万キナ	36,353	9,669	26,684
	Solomon Islands	2022	百万ソロモン諸島ドル	2,782	4,984	-2,202
	Vanuatu	2022	百万バヌアツ・バツ	5,749	30,644	-24,895
Polynesia	Cook Islands	2022	千NZドル	7,750	111,906	-104,156
	French Polynesia ¹	2021	百万パシフィック・フラン	12,088	200,449	-188,362
	Niue	2021	百万NZドル	1	20	-19
	Samoa	2022	千サモア・タラ	110,169	1,089,018	-978,848
	Tonga	2022	千トンガ・パアンガ	12,903	275,131	-262,228
	Tuvalu	2022	千豪ドル	49	48,599	-48,551

※国・地域毎に、入手した最新の年度の貿易データを記載。

（出所） Asian Development Bank (ADB) 、¹ Pacific Community (SPC) よりクニエ作成

島嶼国の輸出産品TOP 5（ミクロネシア地域）



特に日本向けの輸出では、魚介類をはじめとする食料品が多くみられる。

国・地域	FSM		Kiribati		Marshall Islands		
	輸出先	全世界(2014-18) ¹	日本(2004-08) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2016-21) ²	全世界(2018-22) ²	日本(2019-23) ²
TOP1	沖合魚（マグロ）	魚（生鮮・冷蔵）	魚（生鮮・冷蔵）	鮮魚、チルド魚、冷凍魚	魚のフィレ、魚肉	クルーズ船、遊覧船、貨物船など	魚（冷凍）
TOP2	ビンロウジ	魚（冷凍）	魚（冷凍）	ココナッツオイル	魚（冷凍）	ヨット、その他遊覧・スポーツ用の船舶	曳航・押航用の船舶
TOP3	カバ	その他の肉、食用のくず肉	その他の肉、食用のくず肉	コプラ（ココナッツ乾燥品）	-	魚（冷凍）	魚（生鮮・冷蔵）
TOP4	リーフフィッシュ	-	-	-	-	軽船舶、消防船などの船舶	魚（生きているもの）
TOP5	活アサリ	-	-	-	-	石油、瀝青鉱物から得られる油	切花、花芽

国・地域	Nauru		Palau		
	輸出先	全世界(2018-22) ¹	日本(2019-23) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2014-18) ²
TOP1	リン酸	リン酸	魚（冷凍）	機械、器具	魚（生鮮・冷蔵）
TOP2	-	-	リン酸	写真・医療用などの機器	鍛造機、ハンマー、型鍛造機
TOP3	-	-	魚のフィレ、魚肉	魚類、甲殻類など	ベーカリー製品など
TOP4	-	-	調製食料品	車両、その部品	果実・野菜のジュース
TOP5	-	-	-	鉄鋼製品	機器、測距儀

※輸出先に記載の期間において輸出額が多い産品を選定。その他や雑品など詳細が不明な産品、単年のみの輸出かつ輸出額が少ない産品等は除外した。

(出所) ¹Pacific Community (SPC)、²International Trade Centre (ITC) よりクニエ作成

島嶼国の輸出産品TOP 5（メラネシア地域）



全世界・日本向けの輸出とともに、鉱物資源が多くみられる。

国・地域	Fiji		New Caledonia		PNG	
輸出先	全世界(2016-20) ¹	日本(2018-22) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2011-15) ²	全世界(2016-20) ¹	日本(2019-21) ²
TOP1	調理済み食品、飲料、蒸留酒、タバコ	木くず、薪材	フェロニッケル	フェロアロイ	液化天然ガス	石油ガスなど
TOP2	ミネラルウォーター	魚（冷凍）	ニッケル鉱	ニッケル鉱	金	銅鉱
TOP3	貴石・半貴石	水、氷、雪	ニオブ (NiO)	ニッケル製錬の生産物	石油	貴金属鉱
TOP4	金	魚（生鮮・冷蔵）	N-ヘテロ環式カルベン (NHC)	甲殻類	銅鉱石、精鉱	石油、歴青油、廃油
TOP5	砂糖	木材	炭酸コバルト (CoCO3)	炭酸塩、ペルオキシ炭酸塩など	魚（冷凍）	高温コールタールの蒸留物

国・地域	Solomon Islands		Vanuatu	
輸出先	全世界(2015-19) ¹	日本(2014-18) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2006-11) ²
TOP1	丸太	地ならし・掘削用などの機械	カバ	牛肉（冷凍）
TOP2	魚の燻製（マグロ）	木材	コブラ（ココナッツ乾燥品）	魚（生鮮・冷蔵）
TOP3	パーム油	デリック、クレーンなど	ココナッツオイル	魚（生きているもの）
TOP4	コブラ（ココナッツ乾燥品）	機械の部分品	木材および木材製品、木炭	牛肉（生鮮・冷蔵）
TOP5	魚（生鮮・冷凍・干物）	魚（冷凍）	ココア	バニラ豆

※輸出先に記載の期間において輸出額が多い産品を選定。その他や雑品など詳細が不明な産品、単年のみの輸出かつ輸出額が少ない産品等は除外した。

（出所）¹Pacific Community（SPC）、²International Trade Centre（ITC）よりクニエ作成

島嶼国の輸出産品TOP 5（ポリネシア地域）

全世界・日本向けの輸出とともに、魚介類や果実、野菜などの食料品が多くみられる。

国・地域	Cook Islands		French Polynesia		Niue	
	全世界(2017-21) ¹	日本(2005) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2018-22) ²	全世界(2017-21) ¹	日本(2010-14) ²
TOP1	魚（生鮮・冷蔵）	果実・野菜のジュース	真珠	真珠	ノニジュース	果実・野菜のジュース
TOP2	ノニ	魚（冷凍）	航空機、その部分品	ジャム、フルーツゼリーなど	タロイモ	プラスチック製の管・ホース
TOP3	真珠	真珠	魚（生鮮・冷蔵・冷凍）	果実・野菜のジュース	蜂蜜、蜂蜜製品	医療・獣医用の機器
TOP4	-	魚（生きているもの）	バナラ豆	バナラ豆	-	貨幣
TOP5	-	-	ココナッツ油、パーム油、ババス油	魚（生鮮・冷蔵）	-	-

国・地域	Samoa		Tonga		Tuvalu	
	全世界(2017-21) ¹	日本(2018-22) ²	全世界(2018-22) ¹	日本(2018-22) ²	全世界(2018-22) ¹	日本(2018-22) ³
TOP1	魚	魚（冷凍）	カバ	手道具・手工具のセット	圧縮ガス・液化ガス用容器	魚（冷凍）
TOP2	タロイモ	魚のフィレ、魚肉	その他の魚（生鮮・冷蔵）	その他の野菜（生鮮・冷蔵）	-	魚のフィレ、魚肉
TOP3	フルーツジュース	果実・野菜のジュース	カボチャ	魚（生鮮・冷蔵）	-	-
TOP4	ビール	ココナッツ油、パーム油、ババス油	山芋	藻類、ローカストビーコン、てん菜など	-	-
TOP5	ココナッツオイル	石油、歴青油、廃油	タロイモ	コンテナ	-	-

※輸出先に記載の期間において輸出額が多い産品を選定。その他や雑品など詳細が不明な産品、単年のみの輸出かつ輸出額が少ない産品等は除外した。

(出所) ¹Pacific Community (SPC)、²International Trade Centre (ITC)、³太平洋諸島センター（※元データは財務省）よりクニエ作成

■ 遠隔性

主要国際市場から遠く、輸出入の輸送コストが高い→電力料金や人件費も安くなく、価格競争力が低い。観光振興の点でも航空運賃の高さや航路の少なさがネック

■ 生産規模

商業的な農業生産や、大規模な製造が困難であり、規模の経済が成り立っていない。販路の開拓（マーケティング含）も困難

■ 農産品：輸出振興 vs 輸入代替

外貨収入の増加 vs 食糧安全保障 & 食糧輸入依存の低減

■ 加工施設

農水産品の加工を通じた付加価値の向上が十分図られていない。生鮮農水産品の輸出規制・手続きに関する情報も不足

■ 品質管理

（海外から求められる）安定的な量・品質が提供できない。検査体制の不足。検疫等への対応。農水産物のコールドチェーンの面でも課題



島嶼国から輸出の可能性のある品目

◆ 現地調査を通じて、中長期的に島嶼国から日本への輸出（新規or拡大）が期待される20品目を抽出

品名	注目国
魚（沿岸漁業、養殖）	14カ国・2地域全て
貝（シャコガイなど）	パラオ、ミクロネシア連邦、ソロモン諸島、ニューカレドニア、サモア、仏領ポリネシア
甲殻類（エビなど）	パラオ、ミクロネシア連邦、ニューカレドニア
海藻類（モズク、キリンサイ）	トンガ、FSM
化粧品	パラオ、ミクロネシア連邦、FSM、ソロモン諸島、ニューカレドニア、フィジー、ツバル、クック諸島、仏領ポリネシア
ココナッツオイル（食品、化粧品）	ミクロネシア連邦、キリバス、PNG、ソロモン諸島、バヌアツ、サモア、仏領ポリネシア
タマヌオイル	バヌアツ、ナウル
コーヒー	ミクロネシア連邦、PNG、バヌアツ
砂糖（ココナッツシュガー）	フィジー、キリバス（Coconut Mealはバヌアツの9位の輸出産品、ココナッツウォーターは多くの国からの輸出産品）
バニラビーンズ	PNG、バヌアツ、ニューカレドニア、クック諸島、サモア、ニウエ、仏領ポリネシア
チョコレート（菓子）	PNG、バヌアツ（ココア）、フィジー、サモア、仏領ポリネシア
牛肉	バヌアツ
はちみつ	ニューカレドニア、ニウエ
ドライフルーツ	ミクロネシア連邦（バナナチップス）、クック諸島（パパイヤ）、ニウエ
タロイモ粉	パラオ、ミクロネシア連邦、ソロモン諸島、クック諸島、トンガ、サモア
パンの実粉	ミクロネシア連邦、トンガ
希少植物製品（ノニジュース、ニアウリ精油等）	ニューカレドニア、クック諸島、サモア、ニウエ、トンガ、パラオ
ラム酒	パラオ（蒸留酒）、バヌアツ（Alcoholic Drinks）、フィジー（Prepared foodstuffs, beverages, spirits & tobacco）、ニューカレドニア
ピーナッツバター、ジャム等	フィジー、仏領ポリネシア
真珠・真珠母貝	クック諸島、仏領ポリネシア

太平洋島嶼国の製品の輸出促進を目的として、下記の通り3つの展示会に出展した。日本への輸出の可能性が確認されつつも、同時に複数の課題が明らかとなった。

展示会	主要な課題	日本市場参入に当たっての検討事項
<p>SCAJ World Specialty Coffee Conference and Exhibition 2023 (2023/09/27-29)</p>	<p>品質：欠点（欠けた豆）が多い。標高が低い。 価格：日本市場では比較的高額である。 数量：必要量を安定的に確保できるか見通せない。 コミュニケーション：日本側の要求に対応できないことや納期を守れないことがある</p>	<p>ターゲット企業選定：少量でも珍しい豆を取り扱いたい企業等の選定 ポジショニング：太平洋島嶼国産コーヒーとしてのポジショニング、ブランドバリューの構築</p>
<p>国際化粧品展 (2024/01/17-19)</p>	<p>品質も含めた商品の魅力：まずは太平洋島嶼国の製品に関心を持ってもらう必要がある。 輸送コスト・時間：輸送コストが高く、日本の同等の製品と比較して高額となる。時間もかかる。 輸出入関連規制：日本市場への化粧品・食品輸出に関する手続き・プロセスは非常に複雑で、揃えなければならない書類やライセンスも多い。</p>	<p>ターゲット日本企業選定：生産側の規模に応じた適切な輸出先、品質改善からともに取り組んでくれるような企業、等の選定 マーケティング：商品の魅力を発信できる機会の積極的な創出、希少性のある高品質・高価格な商品としてのブランド・ニッチマーケティング戦略の構築</p>
<p>FOODEX JAPAN 2024 (2024/03/05-08)</p>	<p>輸入関税：品目によっては高い輸入関税（例：バナアツビーフは38.5%）がかかり、価格競争力を持ってない。 品質・数量：同じ品質の商品を一定量安定供給してほしいという要望に対応できない。</p>	<p>安全性向上：国際食品安全基準への適合、識別・トレーサビリティシステムの強化</p>

■ STEP-by-STEPアプローチ

STEP 1 : NZ・豪州・米国の島嶼国出身者コミュニティ向けの輸出体制確立

STEP 2 : その経験をベースとした日本市場（及び他国市場）の開拓

■ 食品加工地の検討

必ずしも島嶼国において加工をするだけでなく、原材料や一次加工品の状態でNZ・豪州・米国等に輸出し、当該国において最終加工・輸出を行う

■ 貿易協定

太平洋諸国経済緊密化協定（PACER Plus）のような、貿易・投資の円滑化協定、豪州・NZとの協調の必要性

■ 採算性の確保に向けた補助

「遠隔性⇒コスト高」軽減のための輸送費補助（Freight Subsidy）。国際的にニッチ市場を確保するための手段

■ アンテナショップ

太平洋島嶼国・地域の産品を集めたアンテナショップ。日本に開設し、実店舗・オンライン販売。官民連携出資。ブランディングの重要性

太平洋島嶼国から日本市場に商品を輸出する際の障壁の一つである輸出入手続きについての対応を支援するため、日本への輸出に係る手続きや留意点をまとめた「貿易ハンドブック」を作成中。

主な項目		記載内容
1. 導入	輸出の流れ	輸出入の大まかな流れを図と文章で説明
2. 貿易管理に係る各種法律・規制	概要	商品貿易について共通して関連する各種法律・手続きの概要、一覧
	植物防疫法	植物防疫法に基づく各種手続き
	食品衛生法	食品衛生法に基づく各種手続き（残留農薬規制含む）
	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法に基づく各種手続き
3. 関税制度	概要	日本の関税制度、関連法の紹介、関税一覧
	品目分類	HSコードの説明、分類一覧（概要）
	規制品目	日本への輸出が禁止されている品目一覧
	特惠等特別措置	特惠関税の説明
	原産地規則	原産地認定、原産地証明手続きに係る説明
	関税以外の諸税	その他の税金に係る説明（あれば）
4. 20品目のカテゴリごとの各論		各品目の輸出入手続き、留意点
5. よくある質問		よくある質問と回答、記載箇所への誘導、参考URL等
Appendix		各種連絡先一覧

(3) 調查報告 - 投資

有望分野



電力・エネルギー

分野の現状・課題

- 各国では「国が決定する貢献（NDC）」を定め、再生可能エネルギー比率を基準年までに〇〇%にするといった目標を掲げているが、現時点の投資計画だけでは達成は困難
- 独立発電事業者（IPP）の参入への期待。但し、セクター改革や法改正が必要な国も
- 電力系統安定化に課題
- 地方電化に係るニーズあり

参入可能性分析

- 再生可能エネルギーに係るニーズは高い。IPPとして参入を検討するのであれば、再生可能エネルギーを系統に繋ぐための設備の整備状況、セクター改革の状況、法整備状況等は要確認
- 電力系統安定化装置の需要もあり
- 地方電化についてはオフグリッド電力事業も検討の価値あり
- 日本政府はパラオ及びPNGとの間で二国間クレジット制度（JCM）を実施しており、同制度の活用にも可能性
- 電力の供給と使い道（観光用EV、電動農機具による農産物増産、淡水化など）のマッチングによる地域経済振興策の導入

注目国

サモア、トンガ、ニウエ、ツバル、パプアニューギニア、ソロモン諸島、バヌアツ、フィジー、パラオ、ニューカレドニア等

（出所）現地ヒアリング結果等

有望分野



観光

分野の現状・課題

- 宿泊施設（特に大型のものや外国人観光客向けのもの）の不足
- 地域会議等の会議やイベントを行うための施設を備えたホテルの不足
- マリンスポーツ、文化、歴史的スポットを含め、ユニークな機会提供は可能

参入可能性分析

- 宿泊施設については多くの国で不足しており、ニーズは高い
- 環境配慮型設備を導入したホテル等他との差別化も重要
- 観光客向けの電気バス、電気自動車、電動バイク等への期待も高い
- 日本食レストラン経営のニーズもあり
- エコツーリズム、ダークツーリズム、コミュニティベースド・ツーリズム等特色のあるツアー開発の重要性

注目国

サモア、トンガ、クック諸島、ツバル、ソロモン諸島、バヌアツ、フィジー、パラオ、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島、キリバス、仏領ポリネシア等

（出所）現地ヒアリング結果等

有望分野

農林水産・食品加工

分野の現状・課題

- 水耕栽培のニーズ
- 食品の冷凍保存技術、乾燥技術にニーズあり
- 一次産品への付加価値付けに課題。食品加工工場建設に係る高いニーズはあるものの、土地問題やインフラに課題があり、投資が少ない

参入可能性分析

- 有機農業等、高付加価値な農業生産による差別化
- 「狭小性」という課題を克服する意味でも水耕栽培等の技術も重要
- 食品加工工場を建設するにしても土地問題やインフラに課題があり。経済特区（SEZ）の整備が進む国についてはSEZでの工場建設（参考：PNGではSEZの計画あり。また、ソロモン諸島やバヌアツでも検討がなされている）

注目国

サモア、トンガ、ニウエ、パプアニューギニア、バヌアツ、フィジー、パラオ、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島、キリバス、ニューカレドニア等

（出所）現地ヒアリング結果等

有望分野



廃棄物

分野の現状・課題


- 廃棄物処理、リサイクルは多くの国で課題であり、同分野への投資ニーズは高い
- 例えばソロモン諸島では2023年9月よりプラスチック製品が法的に禁止される等ゴミ問題への意識も高まっている

参入可能性分析

- 多くの国でニーズは確認出来ているが、採算性の低い分野でもあるため、所管省庁等との連携による事業開発（資金調達含む）が必要
- 「小型」「電源不要」「処理過程で発生する物質は環境への影響無し」といった特徴を有する処理設備にニーズあり
- 廃棄物からのエネルギー回収（Waste to Energy）のニーズも高いが、採算性を確保できるごみの量の確保が困難であり、実現にはごみ収集プロセスの改善から取り組む必要あり

注目国

ソロモン諸島、フィジー、パラオ等

<p>有望分野</p>	 <h2>保健・医療</h2>
<p>分野の現状・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療施設・機器の不足は多くの国で課題 ● 非感染性疾患（NCDs）の罹患率の増加も課題
<p>参入可能性分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フィジー政府と豪医療企業Aspen Medicalが2019年に20年間のPPP契約（病院の開発、アップグレード、運営・維持等のオペレーション及び資金調達の一部をAspen Medicalが担う契約）を結んだ例もあり、民間病院が参入できる可能性はある ● 高齢者福祉サービス導入に係るニーズも確認出来ており、日本の高齢者ケアの技術・ノウハウにはニーズあり
<p>注目国</p>	<p>サモア、フィジー等</p>

（出所）現地ヒアリング結果等

課題

解決策（案）

現地情報・ネットワークの
不足

- 後述のビジネスマッチングサイトの維持・拡大
- 在外公館の「日本企業支援窓口」等による現地関係者の紹介（支援窓口については外務省HP等にて周知されており、その強化が望まれる）
- 現地関係者とのつながりを多く有する民間企業・機関への委託を通じて、民間企業の間い合わせに対応できる体制の構築

収益性の確保、
事業実施判断の難しさ

- 現地事情に精通したアドバイザー・コンサルタントを官側で確保し、民間企業のビジネス展開に関する相談にアドバイスを行う（PICの役割強化等）
- 一時的な補助金だけでなく、小規模であっても日本企業が利用出来る低利融資を行い、民間企業が多少のリスクを取りながら事業展開していく形を政策的に支援

その他
（進出先候補の法の未
整備や進出人材の不足
等）

- 法整備や関係者の能力向上を、ODAや産業人材育成制度を通じて支援
- 日本企業による太平洋島嶼国企業への派遣研修制度を設立・支援

(4) お知らせ

日本と太平洋島嶼国14カ国 + 2地域の企業を対象としたビジネスマッチングサイトを2024年7月に新設します。

2024年7月 「JAPAN-PACIFIC e-Business」新設

日本と太平洋島嶼国14カ国 + 2地域の企業の交流・事業形成を支援します

日本企業

太平洋島嶼国に
投資したいビジネスの掲載

太平洋島嶼国から
購入したい商品・サービスの掲載



太平洋島嶼国の企業

投資ニーズの掲載

日本市場に展開したい
商品・サービスの掲載



オンラインビジネスマッチングサイト

※太平洋島嶼国の観光情報も同サイトに掲載予定です

自社の貿易・投資情報の登録

- ✓ 貿易・取引希望の商品の掲載
- ✓ 投資希望の商品・産業の掲載

食品・加工食品



サンプルイメージ

コーヒー豆の輸入

高品質なコーヒー豆の輸入に業に関心があり、世界各国からの供給を求めています。特に太平洋諸島の独特な気候と土壌は、コーヒー豆に独自の風味と品質をもたらします。現在、私たちは既に複数の国からコーヒー豆を輸入しておりますが、太平洋諸島の生産者との新たな取引関係を築くことに大きな興味を持っています。貴社のコーヒー豆を当社の輸入ラインナップに加え、日本市場での販売を拡大することを目指しています。太平洋諸国の企業様が持つ豊富なコーヒー豆の情報を共有いただければ、相互のビジネスチャンスを探ることができると信じています。

希望する取引国

ニウエ  バラオ  パプアニューギニア 

日本・島嶼国企業の検索・閲覧

- ✓ 貿易・投資応募中の企業情報の閲覧
- ✓ 商品カテゴリー、国別などの詳細検索

太平洋島嶼国の企業一覧
太平洋島嶼国の企業が12件見つかりました。

サンプルイメージ

詳細検索 detailed search

貿易 Investment 投資 trade

貿易ビジネスカテゴリを選択

- 食品・加工食品
- 飲料食品
- 美術・工藝品
- 衣類・織物
- アクセサリ
- ヘルス&ビューティー
- 卸売・小売業務
- 旅行・貿易業務
- 貿易その他

投資ビジネスカテゴリを選択

- ICT・デジタル
- 観光産業
- クリエイティブ産業（手芸）
- インフラ
- エネルギー
- 海洋資源・鉱業
- 農林・水産・畜産業
- 食品加工

 <p>貿易</p> <p>原料食品</p> <p>天然のココナッツジュース</p> <p>新鮮なココナッツを使用したジュースです</p> <p>パプアニューギニア クリック検索</p> <p>詳しく見る / MORE</p>	 <p>投資</p> <p>ICT・デジタル</p> <p>エンジニアリング</p> <p>01234567890123456789 0123456789...</p> <p>パプアニューギニア クリック検索</p> <p>ICT・デジタル</p> <p>詳しく見る / MORE</p>	 <p>貿易</p> <p>原料食品</p> <p>【貿易情報】製品タイトル</p> <p>【貿易情報】詳細 【貿易情報】詳細 【貿易情報】詳細 【貿易情報】詳細</p> <p>ネリス 飲料食品</p> <p>詳しく見る / MORE</p>
 <p>貿易</p> <p>食品・加工食品</p> <p>コーヒー豆です</p> <p>高品質な香り豊かなコーヒー豆をご用意しております。島が国の主要品です。</p> <p>パプアニューギニア クリック検索</p> <p>詳しく見る / MORE</p>	 <p>貿易</p> <p>食品・加工食品</p> <p>マンゴーの輸入</p> <p>マンゴーを輸入したいです。</p> <p>パプアニューギニア クリック検索</p> <p>食品・加工食品</p> <p>詳しく見る / MORE</p>	 <p>投資</p> <p>ヘルス・医療</p> <p>パラオの民族舞踊教室（型）</p> <p>パラオの伝統舞踊教室を開催したい</p> <p>パプアニューギニア クリック検索</p> <p>ヘルス・医療</p> <p>詳しく見る / MORE</p>

※開設時の通知登録 受付中です。お手元の資料をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先



TEL : 03-3517-2292
WEB : <https://www.qunie.com>
E-MAIL : pacific-event@qunie.com